

磐城時報

日九廿
編輯兼發行 阿田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一冊金貳圓 一月金十圓
廣告料 一行十二字 貳百字以上
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

磐城青年立志會 來月一日發會式

兩角中將、小林市長等 講演のため來平

夏井村出身現東京鐵道重慶、來賓祝辭
會長渡邊重慶氏の後援により、挨拶 顧問本田先生
の警備青年立志會では發會式、午後一時より講演會
の準備中であつたが、午後一時より講演會
七月一日午前九時から、本會創立の趣旨に就て
館で盛大な發會式を舉行す 鐵道重慶渡邊重慶氏
の事になつた、當日の式次
左の如くである。

- 一、開會の辭 會長中野憲
- 一、國歌合唱
- 一、次 元文部大臣 小橋一太氏
現東京市長
- 一、會務報告 同上
- 一、事業豫算内示 同上
- 一、事業計畫決議
- 一、會員宣誓式

大日本運動本部 平市で講演會

四日平第三校で

大日本運動本部主催の講演會、代議士中野實吉、林平馬
會を來月四日午後七時半、兩氏も來平する豫定だが未
ら平第三小學校講堂、湯本に決定しない。

町の二ヶ所に開く、講師左
の如く一般の來聴歡迎。

小名濱の 底曳網成績

中將兩角三郎、奈神尊王 本年春職底曳網の成績は
愛國について、學習院、魚市場代行磐城水産株式會
授渡邊三郎、大日本運動部に於て調査した結果に依
る本領、代議士守屋榮夫と合計金額十九萬四千五

百廿七圓十五錢で、其内譯左
の如く昨年比し好成績を
示して居る。

- 松丸一三、三二五圓六三
- 馬上松太郎、觀音丸一三
- 二九五、六八齋藤誠吉
- 第二勇丸二、一四六、八
- 六田島熊次郎、德榮丸一
- 一、四五四、〇八太田豊太
- 郎、大高丸一、三二四、二
- 九〇高津忠治、惠比壽丸
- 一一、二二九、二五小野寅

出征兵遺家族に 平庶民金庫貸出

中小商業振興資金

平庶民金庫では、縣から割當件を附議する。
てられた中小小商業振興
資金融通の件に關し、その融
通方法を此程總代會で協議
した結果、總額が僅かに五千
圓で到底一般組合員の要求
には應じ切れない爲め、出征
遺家族である組合員のみ
限つて融通する事になつた。

が貸付の金額は一口二百圓
以内、利子を六分五厘とし
て返済期限は三ヶ年位の見
込みである。

畜牛組合會 郡下 畜牛改良組合會は、来る三 十日午後一時から、泉村小學 校で開くが、去る二十五日 は、縣畜牛組合聯合會で決定し た協賛事項に基いて左記諸 運動に参加し、尋常高等の小

之助、福丸九二〇、七二
〇、七一、田中權次郎、第
一勇丸一〇、三三六、一九
田島熊次郎、昭三丸一〇
二、五五、二二比佐勇、共
運丸一〇、二二三、四二馬
上松太郎、三王丸一〇、
〇三二、二比佐勇、第一
福丸九、九二九、二九野崎
杏四郎、盛徳丸九、七〇
一、七一、馬上喜一、旭丸
九、六六三、七〇庄司寅吉
第二福丸九、三八五、五九
野崎杏四郎、神洋丸九、
三三三、二九永山五郎、重
運丸八、五七五、〇九競中
三三郎、水主丸七、八八
二、四四、中野鐵之助、明神
丸五、七八四、九八水野政
次郎

大掛りな喧嘩 内郷村から數名檢舉

平署では二十八日夜内郷村で、現在送寄附者は左の
から齋藤實(二五)長谷川清如(この金額三千六百六十
三(二六)外六名を引致し伊五圓、會員の寄附申込み金
藤司法主任が取調べ中であつた、一萬圓を突破す
るが、探聞するに右數名は、に至つたので豫定の一萬
去る二十六日夜磐城炭礦赤三三圓にはもう一息と一
木飯場内高木昌三(二四)岡一層張切つてゐる。
崎功(二二)の兩名が活動寫、安齋徹、小原喜八
志賀盛榮、五十嵐小平、
鈴木健太郎、市原卯太郎、
金子重次、阿部唯次郎、
星野久八、青天目源一郎
大塚鳳三郎、永山小平、
木幡次郎、齋藤タニ、谷
口ふく、草野央、増子富
治、國府田直良、渡邊ウ
メ、根本義一、緑川茂
高崎松三、薄葉嘉彦、江
尻豐吉、菊地現七、小川
芳太郎、難波一郎、坂本
幸太郎、平盛妓屋組合、
高久忠、野崎滿藏、長谷
川浩太郎、平料理屋組合
蓮沼龍輔、市井茂、井坂
久吉、關内正一、佐々木
節次郎、清水廣政、木村
モン、柏原幸次郎、草野
留直、坂田藤助、根本善
吉、吉田伴吉、阿部政右
衛門、石川義助、萩原義
雄、飯沼林一郎、神谷富
五郎、瀧口豊、伴喜三治
根本武雄、牛久恒三郎、三
河田梅吉

賢沼の鰻

豊間村沼の内辨天の賢沼の
鰻は二十八日、文部省の史蹟
名勝天然記念物調査會で天
然記念物に指定された。

平市の小學兒童 貯金報國運動

九月から實行の豫定

貯金報國運動精進への平市學兒童五千名は、毎日の小遣
各小學校は第二國民によるひを節約して貯金する管で
愛國貯蓄を計劃各區の情勢
家庭の生活等を考慮し各校
別に案を練り、近く實行に移
すことになつたが、この實
施期日は夏休み明け後、
られ全市小學校教員百餘名
は、何れも月給を割いてこの
下室橋會長以下幹事總出動
運動に参加し尋常高等の小

平商校寄附 一萬圓突破

☆好間村 古河炭礦坑業所
☆内郷村 磐城炭礦坑業所
☆湯本町 湯本信用無盡株
☆湯本、入山採炭坑所、
☆石川、小野、矢吹、調和を
☆佐市、鈴木康平、比佐榮

一、吉田恭平、千葉コウ
渡邊長作、矢吹莊司
☆植田町 佐藤徳治郎、鷺
富太郎、長瀬米次
☆江名町 佐藤助五郎、金
成定吉、中田平次、賀澤
萬吉、澤助司、吉田貞吉
☆草野村 大平喜一郎
☆小名濱町 立花雄七
☆勿來町 大平勝四郎、根
本セツ
☆大津町 市原陸郎、鈴木
徳太郎

全兩蓄貯融金 盡無用信本湯

【番一三一話電】場會平

平市田町
三三三三屋
電話三三三三番

鹽豚

魚市場取引昨年度に比して
水揚げ相場が著しき差違を
示し昨年最高七割最低三割
に對し本年は最高十三割現
在十割といふ高値を示して
ゐるので、層一層の活氣を叫
んでゐる。然し水揚げに至
るまで昨日までに累計八
十五萬餘圓に達してゐるに

文魁文堂

藥劑士堀功調劑
よく効く神效水
めくすり
一町二〇錢
發賣元

小名濱から

石城郡沿岸漁場が既に鯉漁
期に入りながら水揚げ極め
の十七萬餘圓に對し、昨年
比し本年は同期間七十三萬
圓内外で十二萬餘圓の開き
があり六月だけにても昨年
は僅かに三萬八千餘圓であ
るが、一ヶ年三萬圓以上の
目標水揚げは或は六ヶ敷か
るべしとの測測を下すに至
つた

氷は！魚清!!!

電話四六七番へ

本店 魚清水卸部
支店 江名町築港内
江名町取賣所
電話六九番

平二丁目警察通り

中形の大陳列 特賣

凡ゆる本年の中形を取揃へて御座います

新發賣 生粹帶 宣傳大賣出し

干草にて織つた名古屋帶・輕裝締め心地百%

平市 三井吳服店 電話 38284

スピード時代に
パーマネント

健康美時代に溼潤と
オゾン美顔術
婦人御洋服に

パーマネント

電話 六七八 全部四圓
自宅 五二五 金 四圓外三

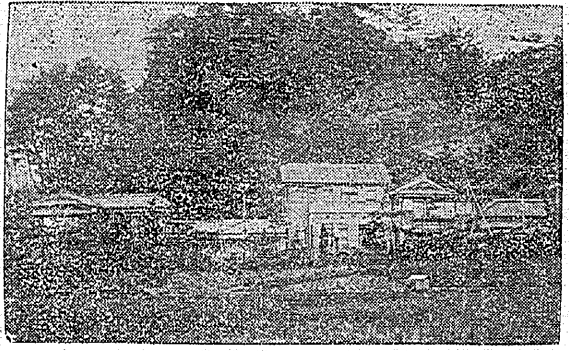
平市驛前
水野化粧院

御引立ち乞フ

安田生命 代理店

井上茂作

平市五丁目
電話六六番



西洋いちごが
出盛つてゐます

猿の子が生れました
とても可愛いです

常磐線湯本驛
鐵道指定旅館
小瀧鑛泉
電話一〇三番

飲料水業界-卅年-歴史-傳統-持ッ

商店ノ

アイスキャンデー

使用機械ハ世界的ニ名聲ノアル冷凍機
械界ノ權威キンシ井ツク(專賣特許)

◇卸部◇
キャンデー製造原料一切

二丁目警察通 **マルサ** 第二支店

◎晝夜診察◎
◎血液検査毎日◎
◎インデモ◎
◎入院出来マス◎

醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

平市新川町二七
電話四六四番

北川外科

内臓外科 レントゲン科
泌尿器科

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

平市田町藤田女學校前
(電話五八番)

(入院のお需に應ず)
自炊の便あり

遊覽地 **新舞子**

春から夏へかけての

客室全部に電灯を点しました
御遊覽客は可憐に御案内申上げます

大浦村上仁井田
落亭

◎國道から五分

魚清自慢の
特製 **みつ豆**

出前も迅速に致します

平三善堂 魚清

魚清食堂
電話六三三

平 驛 前

昭和タクシー

電話 三三四〇番

夜 間 診 療

松村 専門

内科 胃腸病科
花柳病科 性病科
泌尿器病科 皮膚科
肛門病科

性 病 科

院 醫 科 性 胃 腸 村 松
(番七〇一電) 町 南 市 平

獨特の珈琲
と WME

紳士の喫茶店

Grill. バツカス

サービス料一割(外拜給)
平市銀座通り TEL 720

女店員募集

- ▽年齢 十七歳位ヨリ
- ▽月給 初給四拾圓以上
- ▽待遇 衣裳貸與金支給
- ▽何の氣苦勞もなく明に働ける固定給料です
- ▽眞面目に働きたい方は御出下さい
- 懇切に御指導致します

釜めし 親な子
茶めし

外一品御料理ハ
安クテオイシイ

四倉仲町幸町通り
電話五十一番

大漁亭

多少にかゝわらず
御届けします